

支え合えば、この街はもっとよくなる

くわな社協だより

No.110 / 2025年2月号

特集

桑名市社協が目指す役割と 仕事のカタチ

福祉合同クリスマス会
12月18日(水)、長島福祉健康センターで福祉合同クリスマス会を開催しました。一人暮らしの高齢者の方や身体障害者福祉協会の方が参加しショーや大正琴・フラダンスなどの鑑賞や抽選会で楽しいひと時を過ごされました。



発行

社会福祉法人 **桑名市社会福祉協議会**

〒511-0062 桑名市常盤町51番地(桑名市総合福祉会館内)

☎ 0594-22-8311 (代表) ☎ 0594-22-8218 (地域福祉課)

FAX 0594-23-5079 ✉ soumu@kuwana-shakyo.com



URL

www.kuwana-shakyo.com

ホームページに詳しい情報掲載中!!

桑名社協

検索

「くわな社協だより」は、共同募金を活用して制作しています



しゃきょうちゃん

桑名市社協が 目指す役割と 仕事のカタチ

桑名市社協で働く ということ

社会福祉協議会（略称：社協）の仕事について皆さんはどんなイメージを持っていますか？

社協は民間の社会福祉活動を強化することを目的に、すべての市町村・政令指定都市の区・都道府県、そして全国の段階に組織され、現在は社会福祉法で「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置づけられています。ただ、社協と聞いても「何をしているの？」と思われる方が少なくないのが現状です。

そこで今回は、社協で働く現役の職員が集まり、今の仕事内容や職場の雰囲気・やりがいやこれからの目標などを共に話すことで、桑名市社協の「これまで」と「これから」を考え合いました。参加したのは桑名市社協で働くベテラン・中堅・若手職員の皆さん。役職も職場環境も異なる皆さんが一堂に会し、自身の仕事を振り返りながら、共に話し合いました。



「社協の仕事」だからこそ 得られるもの

当日は座談会形式で行い、最初に外部講師から仕事についての考え方や仕事で得られるものについてお話いただきました。

講師から、仕事とは誰かの役に立つこと・自分ができることを考え行動すること・仕事のなかで得られるものが沢山あること・その上で仕事に対する向き合い方や仕事をする上で大切にしていることなどをご紹介いただき、その後2つのグループに分かれて「目指すべき仕事」について話し合いました。



最初に各自で自分の考える仕事や目指すべき姿について考え、付箋に書き出ししていきます。それを話し、模造紙に貼っていきながら共通項や関係性を見つけ、目指すべき仕事の具体的なカタチやアクションを見つけていきました。

今回の座談会を通じて、普段なかなか関わることのない職員同士で仕事の環境や状況・課題や目標を共有したり可視化したりして、組織全体で目指す姿を考え合うことができました。また、その中で見えてきた具体的な課題や目標に対して、個人としてだけでなく組織としてどう取り組んでいくべきなのかを、皆でアイデアを出しながら考え合う機会になりました。

参加してみてどうでしたか？

出口さん 児童発達支援センターらいむの丘

社協の職員として「困っている人に寄り添いニーズに答える」「1年後5年後、先を見据えた支援」「チーム支援・チーム連携」を大切に仕事をしてきたので、みなさんと意見交換し思いが一緒だったのでとても嬉しく、今後ももっと学び、知識・技術をチームで発揮していきたいと思いました。



市川さん 多度通所係

局長や次長、数少ない同年代の方と話をすることも普段ないのでありがたく思います。ただそれとともにやはり20代30代の職員の少なさが気がかりなので、今後は社協だよりなどを活用して社協の魅力を伝えていくことが大事だと感じました。これからも社協の一員としての自覚を持ちながら業務に励んでいきたいと思っています。

鈴木さん 総合相談係

同じ法人職員とはいえ、他部署となるとなかなか話をすることがないので、こういった機会に親睦を深めたり仕事に対する考え方を共有することで、相手のことを理解することができ部署間での連携もやりやすくなると思います。仕事を日々こなしていると、なんとなくこなしていきばかりでしたが、今回のワークを通して仕事に対する考え方を振り返る機会となり改めて市民に対してより良い相談者になれるよう頑張ろうと思いました。



石崎さん 総務人事係

あらためて問われると難しいテーマでしたが、だからこそ今回話し合う機会をいただけて良かったです。他の人との意見の共通点や新しい視点を発見しながら、自分の考えを深めていける過程がとても面白かったです。普段ぼんやりとしか考えていなかったことが、意見交換をすることで明確になりました。

近藤さん らいむの丘保育園

普段関わる機会のあまりない方々と話すことができ、実りある時間を過ごさせていただきました。テーマは抽象的で難しく感じましたが、意見を出し合うことで社協職員として向かっていくべき方向を再認識することができました。これからも知見を広げるとともに、学びを深めていきたいと思っています。



松岡さん 北部東地域包括支援センター

全く違う業務をしていても「目指すべき仕事」について出し合った意見は共通するものも多くあり、同じ意識を持った仲間がいるんだなと実感できました。自分の仕事への取り組み方を振り返るきっかけにもなりました。文字にして紙に貼ってみると、「こんな風に仕事ができたらいいな」という目標にもなりましたし、もっと具体的な業務内容や部署の雰囲気等を聞いてみたいなと思いました。

桑名市社協の目指すべき姿

松田) 現在、少子高齢化と人口減少が急速に進むなか、困りごとのニーズは多様化・複雑化し、さらに居住支援や孤独予防・買い物難民対策など、福祉分野を越えてさまざまな地域生活課題が広がっています。福祉の目的は一人ひとりの幸せであり、社協は支援を必要としている人を見逃すことなく受け止め、必要な支援につないで解決を図ることが求められます。また、人や社会とのつながりの中で、その人らしい暮らしが実現できるよう、住民や地域の関係者と対話を重ねながら、時々刻々と変化



する社会情勢に取り残されることなく、地域の実情に応じた取組や組織運営を進めていく必要があります。

安田) 誰もが安心してその人らしく暮らせる地域社会を作るため、

松田さん 事務局長

安田さん 事務局次長

社協はこれまで以上に開かれた組織として、住民の皆さんや地域のあらゆる関係者の多くの協力をいただきながら、公私協働の要としての真価を発揮できるよう、社協が目指すものや社協が持つ特徴や強みを再確認し、組織や事業をより強化していかなければなりません。桑名市社協として長年にわたって取り組んできた「つながりづくり」は、孤独や孤立を防ぎ、生活に安心感や楽しみをもたらしてきました。引き続き時代の流れや地域のニーズに応じた柔軟な対応で、あらゆる世代がウェルビーイングを実感できるような「つながりづくり」のために、地域住民の皆さんと共に歩み、支え合う社会の実現を目指していきます。「みんなでつくる・つながる未来・無限のかたち」をテーマとして、地域福祉を推進して行きます。



桑名市社協の「経営理念」と「行動指針」

▶ 経営理念

- (1) 年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず、誰もがつながり、支え合うことで、いつまでも生きがいをもって、安心して暮らすことができる地域社会をつくる。
- (2) 一人ひとりの最適な支援環境に配慮しながら、ニーズに即した良質なサービス提供やコミュニティワークが展開できるよう、常に進化し続ける。
- (3) サービスの利用者はじめ、自治会・市民・多職種・多機関が連携し、共に育ち、学び合う場を提供する。

▶ 行動指針

- (1) 社協の活動・事業を動かす原点は、一人ひとりの住民のニーズであり、暮らしの中でニーズを把握するとともに、それに立脚した活動を進める。
- (2) 社協の活動・事業は、住民の自発的なオモイや取組を基礎として、実施する際は常に住民同士あるいは住民と地域の関係者がつながることを支援する。
- (3) 一人ひとりのニーズに立脚した相談・生活支援等の個別支援と、誰もが安心してその人らしく暮らすことができる地域づくりを一体的に展開する。
- (4) 住民や地域の関係者による主体的な活動を推進するため、福祉関係のみならず、医療・保健・就労・住まい・司法・産業・教育・権利擁護・多文化共生・防犯・防災・その他の分野の関係者と連携・協働する。
- (5) 公私協働の要として、地域福祉を推進する責務を有する行政とのパートナーシップを構築し、協働と役割分担に基づいた活動・事業を展開する。

PICKUP! 支え合えば、この街はもっとよくなる

福祉を耕す人たち 福祉の現場を「耕す」ことでこのまちがもっとよくなる。

多度支所 多度通所係

石川さん

2014年入職。日々心掛けていることは「ポジティブに働く」

■職場の特徴は何ですか？

自宅で暮らす要支援・要介護の認定を受けた方に、特性や能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、日帰りで入浴・排泄・食事・レクリエーションや機能訓練等のサービスを提供しています。個々に合わせた個別活動のほか、季節を感じられる行事やレクリエーション・広い館内を利用した日常生活動作や歩行訓練・園芸や創作活動等の生きがいづくり、地域のボランティアの方にご協力頂きながら傾聴や読みみかせ・絵手紙等の機会も作っています。

私が勤務する多度すこやかセンターには、地域における身近な施設としての役割があります。多度という豊かな自然の中、住み慣れた地域で心も体も生き生きと日々を過ごしてもらえるように、また少しでも利用者の家族の身体的・精神的負担を軽減し、安心して生活していただけるように努めています。

■働く上で大事にしていることは何ですか？

「安心・安全の真心の介護」をモットーに利用者と接していますが、それを進める上で「チームワーク」が



大事だと思います。

スタッフ同士が日頃から活発なコミュニケーションを意識して情報や技術の共有を行っており、メンバーと協力して助け合い乗り越えられることもあります。

また、利用者一人に対して、介護職だけでなく看護師やケアマネージャー・医師や薬剤師・理学療法士や作業療法士等様々な職種の方が関わりサポートしていますので、多職種の連携も大切だと感じています。

■他に気をつけていることは何ですか？

「おはようございます」と笑顔で始まり、「ありがとう」「楽しかった」「またくるね」と笑顔でお帰りいただく。「ありがとう」の言葉に仕事の喜びを感じますし、介護する・されるの関係ではなく、その人に寄り添い一緒に時間を共有することを大切にしています。そのためにも職場全体が常に風通し良く、思いやりを持って楽しく働けたらと思っています。

ポジティブに働く活力を得るために、おいしいものを食べたりランニングをしたりと気分転換しています。

ビルメンテナンスから廃棄物処理まで
トータルに幅広く対応いたします。



<http://www.tokaiks.co.jp>

本社 〒511-0806 桑名市大字東汰上字八反田1009番地
TEL 0594-22-6349 FAX 0594-23-6358

新校舎ではじめませんか？

料理 火曜日/10:00~12:00・18:00~20:00

月1回 土曜日/10:00~12:00

茶道 月2回 木・土曜日/18:00~20:00

華道 月2回 木・土曜日/15:00~18:00

詳しくはHPをご覧ください！

お問合せ: 桑名文化センター 0594-22-4401



三重県唯一の【こんまり®流片づけコンサルタント】
インストラクター認定コーチ

片づけなきゃ…と
モヤモヤしている

片づけても
すぐ散らかる…

☎090-2777-2845

担当: 大川

ホームページからは24時間お問合せOK ▼



そのお片づけ、プロが伴走いたします。

お片づけ 1時間 11,000円~



大川運輸倉庫株式会社
こんまりメソッドジャパン三重
三重郡川越町大字亀崎新田77番地の31



赤い羽根共同募金運動へのご協力について

令和6年度も10/1～12/31までの間、自治会・企業・学校・団体など多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

寄せられた募金額は次号の社協だよりで、使いみちとともに報告させていただきます。



お知らせ

ぽかぽか・コミプラ 令和7年度講座 受講生募集

新年度から始まる講座の受講生を募集しています。
春から新しいことを始めて、より充実した日々を送りませんか。
募集要項は、各施設のホームページよりご覧ください。

お問合せ

▶陽だまりの丘複合施設ぽかぽか TEL 0594-87-7576

▶光精工コミュニティプラザ TEL 0594-32-1820



▲陽だまりの丘
複合施設ぽかぽか



▲光精工
コミュニティプラザ

おでかけサポーター研修会を開催しました

12月9日(月)、桑名市総合福祉会館で「おでかけサポーター研修会～“行きたい”を“行ける”に～」を開催し、63名が参加しました。
前半は生活上で買い物や通院などの移動が困難な方のために移動支援を既に実践している団体から取組みを報告いただき、後半は団体ごとにパネルディスカッションを行い、詳しい移動支援の実践内容を確認し課題や問題点などを共有しました。



一人暮らし高齢者のつどいを開催しました

12月20日(金)、多度町在住の65歳以上の一人暮らしの方31名が参加して、本年度2回目となる一人暮らし高齢者のつどいを多度すこやかセンターで開催しました。
当日は多度町民生委員児童委員協議会13名の皆さまにご協力いただき、午前はおかりナアイリスのおかりナ演奏会を鑑賞し、昼食では賑やかに談笑しながら親睦を深め、午後からはビンゴ大会で盛り上がりました。



桑名三重信用金庫様より食材をご寄付いただきました

11月13日(水)、桑名三重信用金庫様より様々な食材をご寄付いただきました。今回のご寄付は、桑名三重信用金庫女性活躍推進プロジェクトチーム「フェリシアスマイル」の発案で、桑名三重信用金庫全店に呼びかけ、職員有志のご家庭から食材をご寄付いただくことで実現しました。本会へは北勢地区にある店舗に寄せられた食材をご寄付いただきました。贈呈式では川瀬会長より「頂戴した貴重な食材は、市内で活動している子ども食堂で大切に活用させていただきます」とお礼の言葉が述べられました。

